

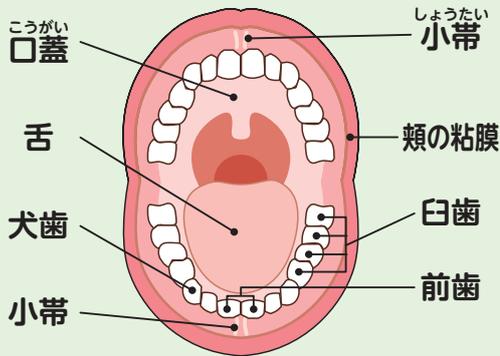


口腔ケア

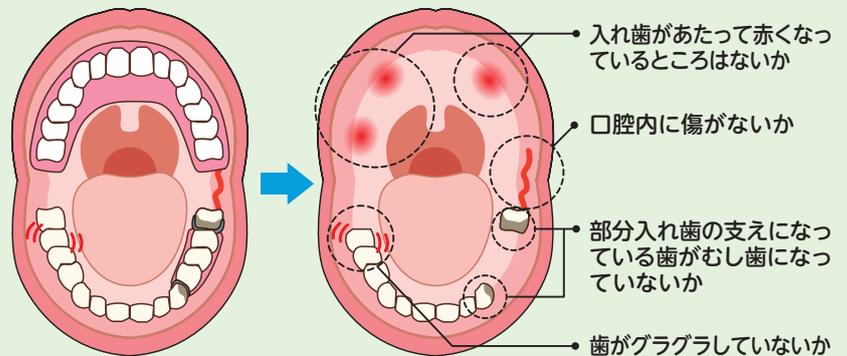


～ 安全で安心な口腔ケアをめざして ～

口の構造



口腔内の観察ポイント



スポンジブラシの使い方

- 1** 洗う用 湿らせる用
コップなどの容器を2つ用意し、水を入れる。
- 2** スポンジブラシを湿らせる用の水につけ、誤嚥を防ぐために水気をしぼる。
- 3** 粘膜についた汚れをやさしくかき出すように取り除く。
- 4** スポンジブラシに汚れが付着したら、洗う用の水で汚れを落とし、湿らせる用の水につけ直す。

口腔乾燥への保湿ケア

- 1** 手の甲に保湿剤を適量出し、ダマがなくなるまでこねます。
- 2** ブラシで唇に塗布し、次の順番で塗っていきます。
- 3** 頬の内側 上から下、下から上へ塗布します。
- 4** 唇の内側 上右、上左、下右、下左側と4か所に分けて塗布します。
- 5** 上あごの口蓋のどにブラシを突き当てないように注意し、上あご奥から手前へ向かって塗布します。
- 6** 舌のどに突き当てないように奥から手前に塗布します。

入れ歯のケア

- 1** 流水下で、入れ歯についている食べかすやヌルヌルとした歯垢のかたまりなどを洗い流す。
- 2** 汚れがある程度取り除けたら、入れ歯専用ブラシを使い、ヌルヌルがなくなるまで磨く。
- 3** 入れ歯の保管用容器に水と入れ歯洗浄剤を入れて、入れ歯を浸す。
- 4** 流水下で、入れ歯ブラシを使用して、入れ歯洗浄剤のお薬成分や、浮き上がったヌルヌルをしっかりと磨いて洗う。

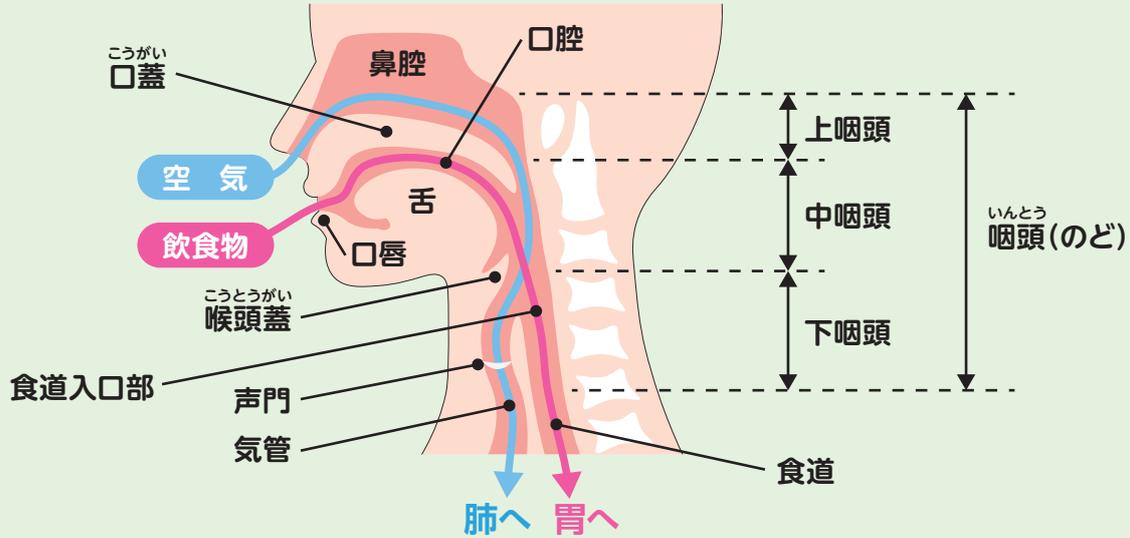
※入れ歯は滑りやすいので、万が一落としても割れないように、入れ歯を手にとって磨く時は必ず水を張った洗面器などを用意しましょう。
※入れ歯洗浄剤は、説明書をご確認の上、用法用量を守りお使いください。



せつしよくえんげ 摂食嚥下



口・喉の構造 (断面図)



嚥下の5期

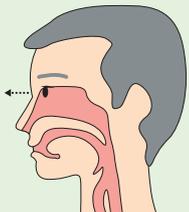
認知期

準備期

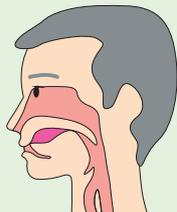
口腔期

咽頭期

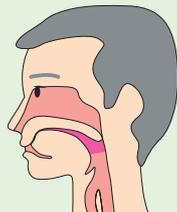
食道期



食べ物の確認
食べ方の判断



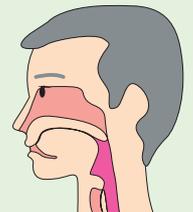
食べ物をよく噛んで
飲み込みやすくする



食べ物を口から
のどに送る



食べ物がのどを
通って食道へ送られる



食べ物を食道から
胃へ送る

ごえん 誤嚥とは

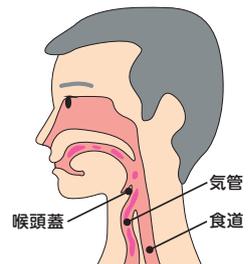
唾液や食物や胃から逆流した物が食道ではなく気管へ入ってしまうこと。口腔内は多数の菌が存在し、高齢などで体の抵抗力が下がった人の肺に入ると誤嚥性肺炎を引き起こすリスクが高まります。

誤嚥の原因

口腔周囲の筋力の低下、神経の麻痺、唾液の減少、残存歯数の減少、嚥下障害など

誤嚥性肺炎 の予防

口腔ケア、口腔周囲の筋力向上(リハビリテーション)、マッサージ、歯科治療などで対応します。



～ 口腔機能と口腔衛生の維持、栄養摂取が口腔と全身の感染予防へ ～

〈発音時の口の形〉

アイウエオ体操



ア



イ



ウ



エ



オ